

学生アンケート調査について

(概 要)

令和3年7月

学生アンケート調査の 結果について

1 目的

宇部市に住む若い人材（高校生、大学生等）の「宇部市への思い」や「まちづくりへの意識」などを把握するとともに、今後の居住意向を把握し、本市の施策の検討材料とすることを目的とする。

2 調査期間

令和3年5月1日（土）～31日（月）

3 調査方法

WEBによる調査

4 調査対象

〔高校生アンケート〕

- ・市内高等学校1～3年生（8校）
- ・回答者数 201件

〔大学生アンケート〕

- ・市内大学・短大・高専の学生（4校）
- ・回答者数 311件（山口大学:149人、宇部フロンティア大学:37人、宇部高専:105人、宇部フロンティア大学短期大学部:19人、無回答:1人）

① 宇部市の住みやすさについて

- 高校生では「住みやすい」が59.2%、「どちらともいえない」が37.3%、「住みにくい」が2.5%となっており、大学生では「住みやすい」が43.4%、「どちらともいえない」が42.1%、「住みにくい」が13.8%となっている。高校生に比べて大学生は「住みにくい」と感じる割合が高くなっている。

- 今後の宇部市での居住について、高校生は「このまま、ずっと宇部市で暮らしたい」が10.0%、「一度は市外に住むと思うが、いずれは宇部市で暮らしたい」が19.4%となっており、大学生は「このまま、ずっと宇部市で暮らしたい」が8.7%、「一度は市外に住むと思うが、いずれは宇部市で暮らしたい」が12.2%となっている。

その理由として、高校生・大学生ともに「住環境が良い」、「自然環境が良い」、「治安が良い」が多い。

一方で、「市外に移り住み、宇部市では暮らさないと思う」は、高校生で25.4%、大学生で44.7%となっており、その理由として、第1位は異なるものの高校生・大学生ともに「娯楽・レジャー施設が不足している」（高校生で1位）、「公共交通が不便」（大学生で1位）、「買い物が不便」が多い。

- 魅力的なまちに向けた取組として、高校生・大学生ともに「人気ブランド店などがある大型商業施設」、「にぎわいのある中心市街地」、「おしゃれなカフェ・レストランがある」が上位に挙がっており、次いで高校生では「Wi-fiなど情報環境の整備」、大学生では「テクノロジーを活用した新しい交通体系が整っている」が挙げられている。

高校生・大学生ともに“今後の本市への居住意向”について3割以上が「わからない」と回答していることから、これらの若者のニーズをしっかりと把握し、魅力あるまちづくりを進めることで、人口の定着につなげていく必要がある。

② まちづくり活動への参画について

- 高校生は「地域の清掃や美化活動」、「地域の行事・イベントのスタッフ」と身近な地域での社会活動が多く、大学生は「地域の行事・イベントのスタッフ」、「健康づくり活動」が多い。高校生は近隣での活動をこれまでも体験或いは目にする機会が多かったため、活動内容がイメージしやすいことが要因と思われ、大学生については、市内に「健康づくり活動」に関する医療・看護系の大学が存在するため、これらの意向が強いものと考えられる。
- 「特になし」と回答した割合は高校生で最も高く、大学生においても2番目に高い結果となった。多様なまちづくり活動の情報を発信することにより、幅広い分野での活動において学生の参画を促し、地域への愛着と次世代の担い手を育成していく必要がある。

③ 就職先について

- 就職先を選ぶ際の優先度について、高校生・大学生ともに「働きたい仕事の内容を優先」が6割以上となっており、5年前の調査と比べてほぼ同様の結果となった。また、「会社の所在地を優先」について、高校生で約2割、大学生で約3割となっており、大学生は5年前の調査と比べてほぼ変化がなかったが、高校生は大きく減少した。
- 就職の際の居住地については、高校生は5年前の調査においては、「希望する就職先の企業がある」、「自分の出身地」、「実家から通勤」の順で優先度が高かったが、今回の調査では「自分の出身地」、「実家から通勤」、「希望する就職先の企業がある」の順となっている。また、大学生では、「自分の出身地」、「生活をする上での利便性が高い」、「希望する就職先の企業がある」の順で優先度が高く、5年前の調査と同様の結果ではあったが、5年前に比べて「自分の出身地」に次ぐ意見の割合が追いついており、理由が多様化してきている様子がうかがえる。
- 働きたい仕事を決める際のポイントとして、高校生は「安定している(将来性がある)」、「自分が興味のある仕事」、「給料が高い」の順で多く、大学生は「自分が興味のある仕事であ

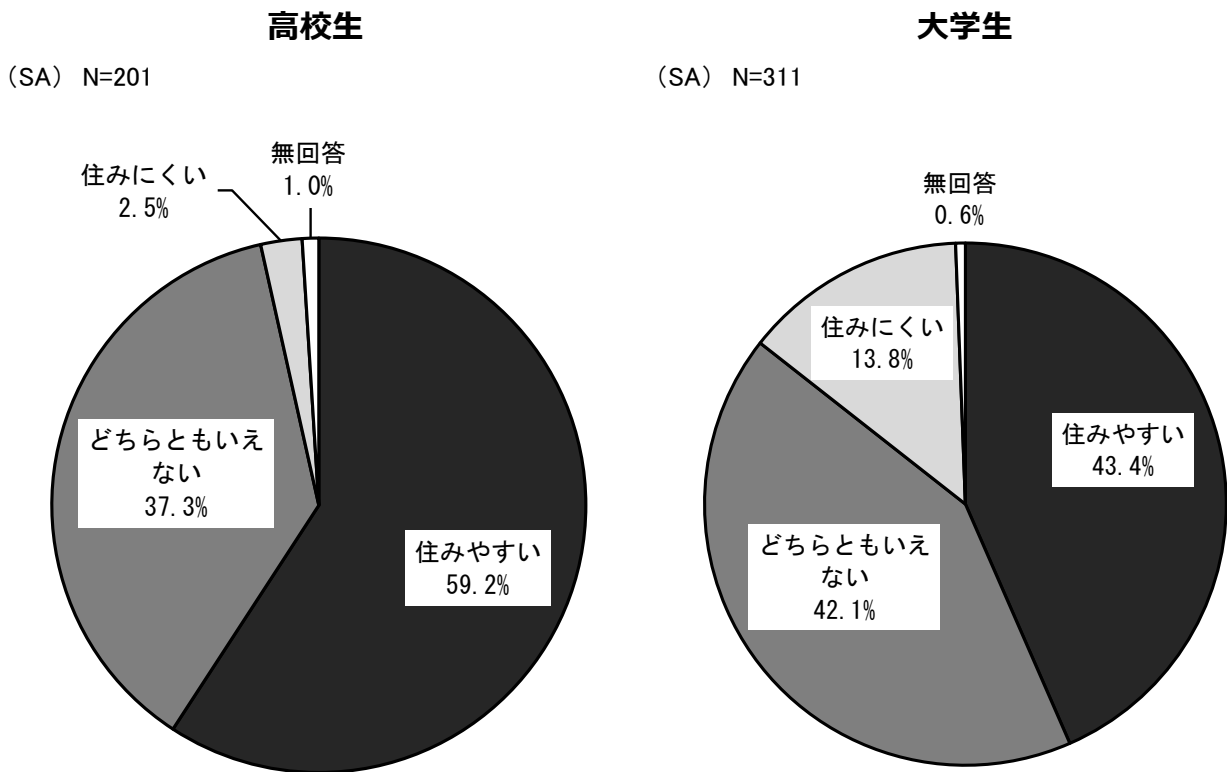
る」、「安定している(将来性がある)」、「給料が高い」の順で高くなっている。

高校生の5年前の調査では「自分が興味のある仕事」、「安定している(将来性がある)」、「給料が高い」の順であったことから、高校生の仕事に求める優先順位が変化している様子がうかがえる。

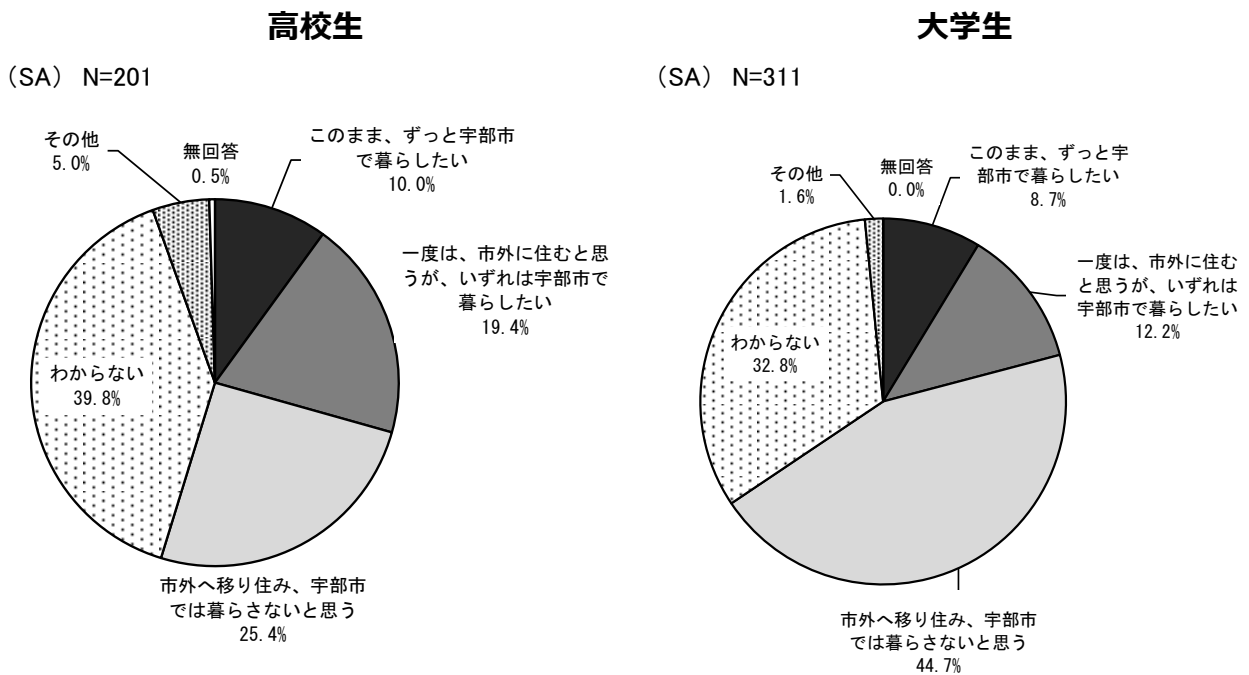
- 市内で希望している仕事ができるようになった場合、宇部市に住みたいと思うかについて、高校生の約9割が「住みたい」と答えていることに対して、大学生の約6割が「住みたい」、3割以上が「住みたくない」と答えており、高校生・大学生ともに、「住みたい」の割合が大きく増加している。

5 調査結果

問1 あなたにとって宇部市は住みやすいまちだと思いますか。(SA)



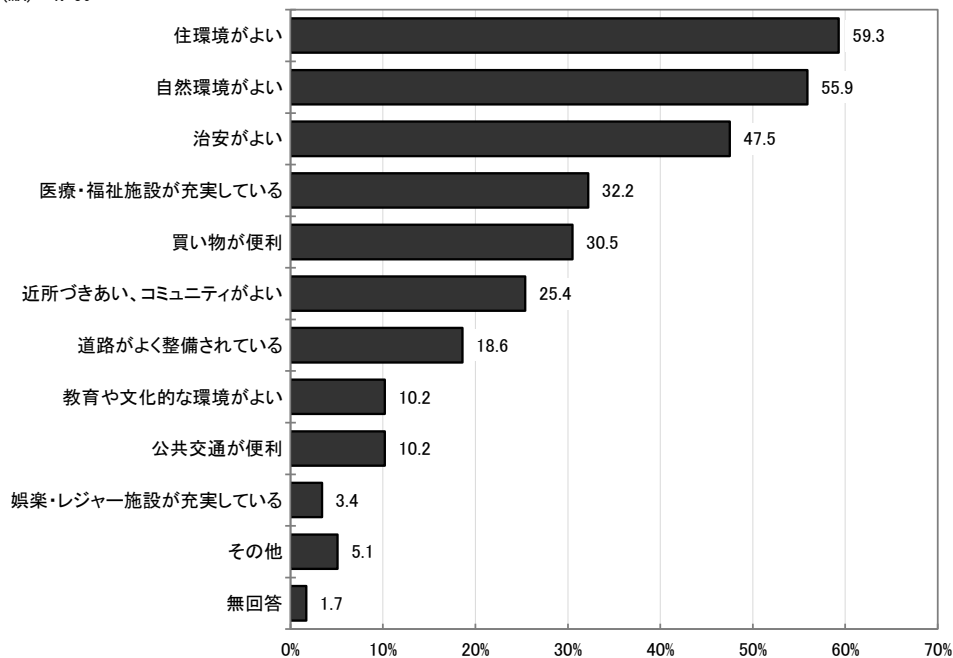
問2 今後も宇部市に住みたいと思いますか。(SA)



問 2-1 問 2 で「このまま、ずっと宇部市で暮らしたい」、「一度は、市外に住むと思うが、いずれは宇部市で暮らしたい」を選択した方にお尋ねします。その理由は何ですか。(MA)

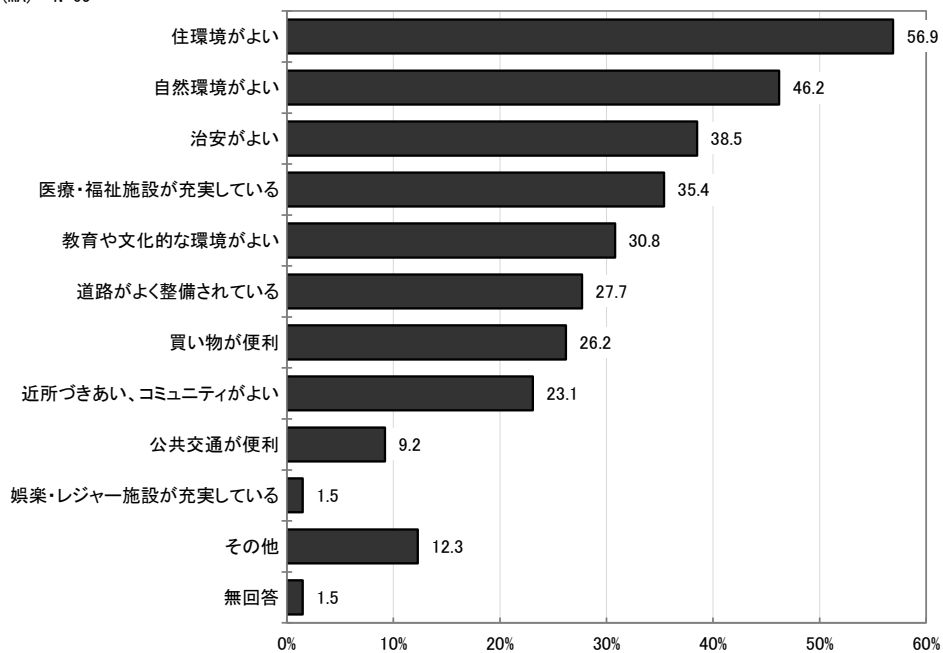
高校生

(MA) N=59



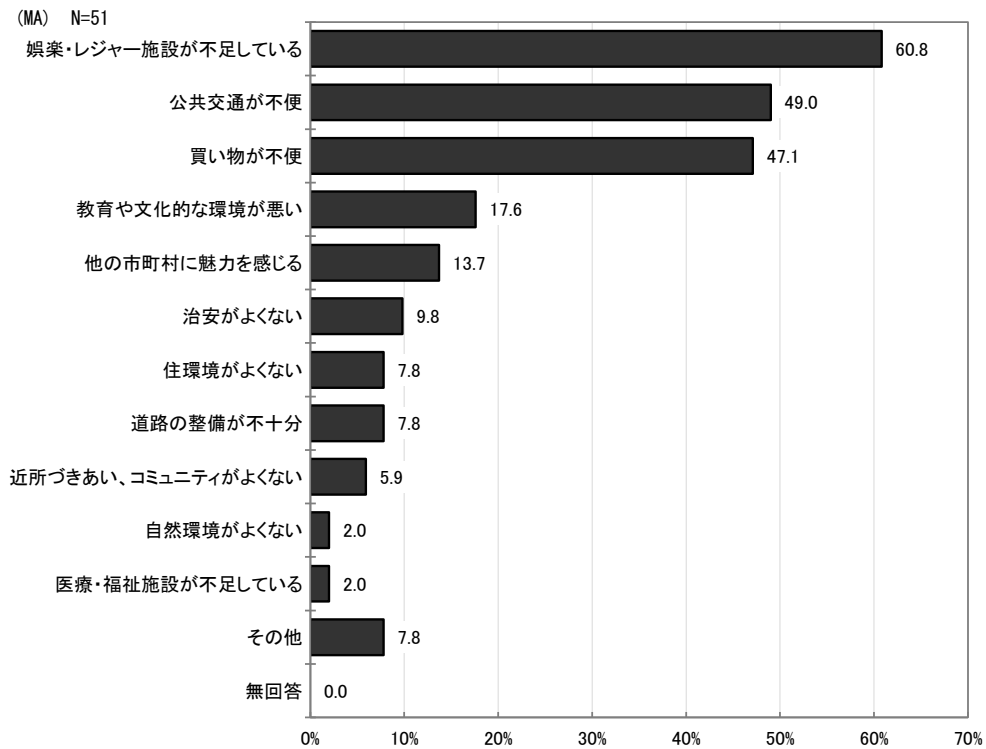
大学生

(MA) N=65

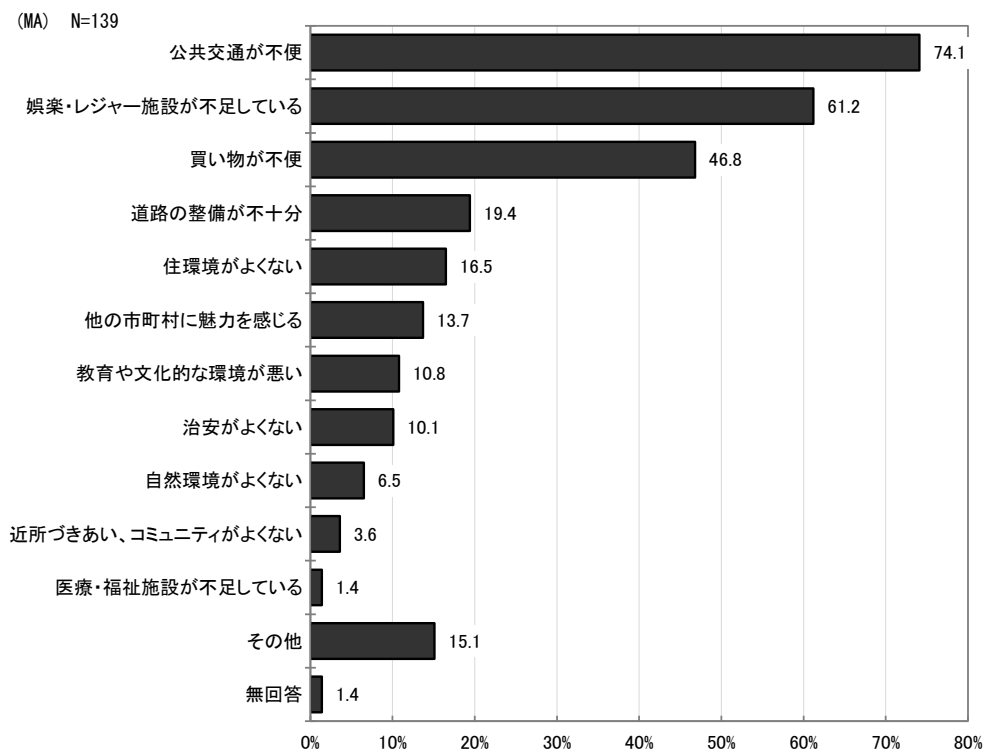


問 2-2 問 2 で「市外へ移り住み、宇部市では暮らさないと思う」を選択した方にお尋ねします。その理由は何ですか。(MA)

高校生

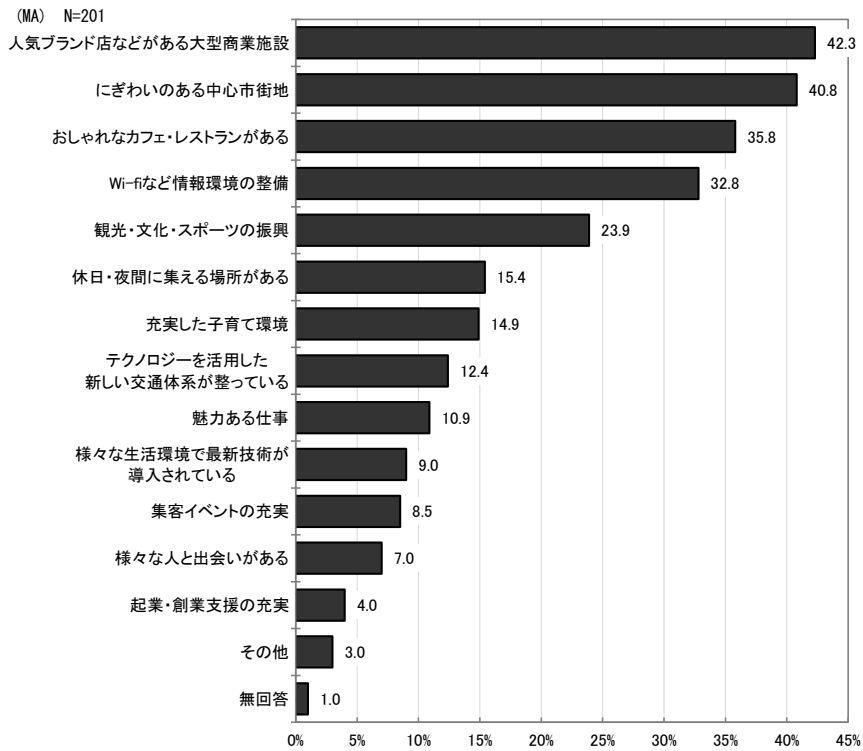


大学生

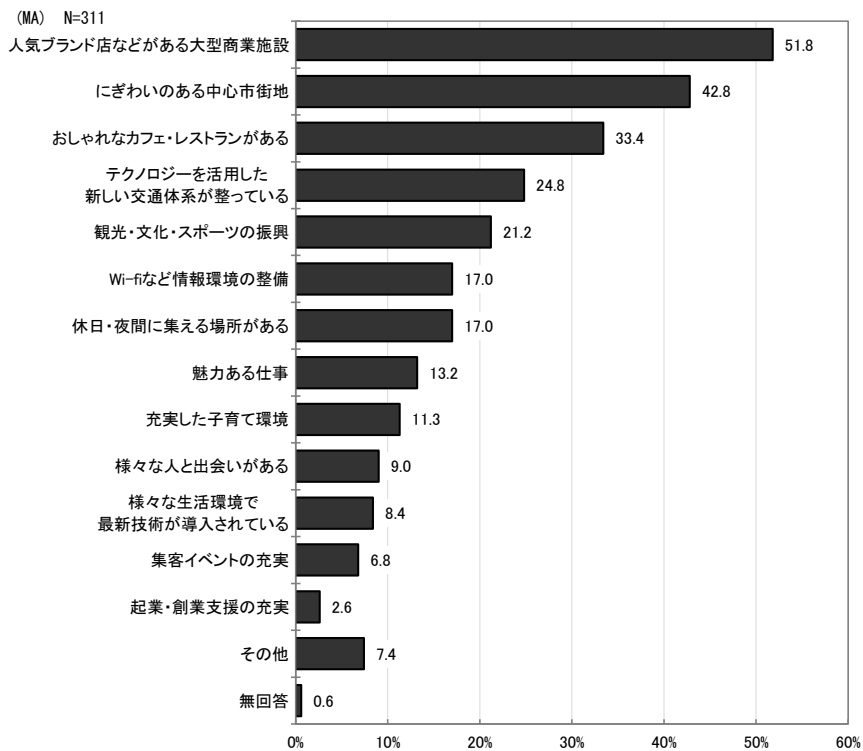


問3 宇部市が魅力的なまちになるために、どんなことが重要だと思いますか。(MA)

高校生



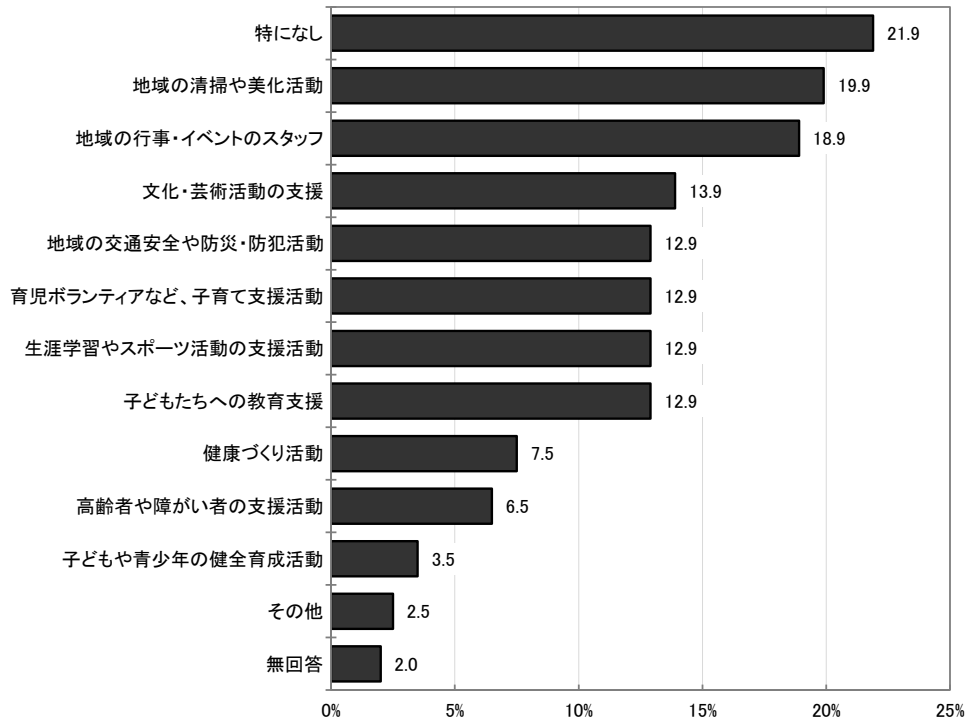
大学生



問4 あなたは、宇部市のまちづくりにどのような分野で協力したいと思いますか。(MA)

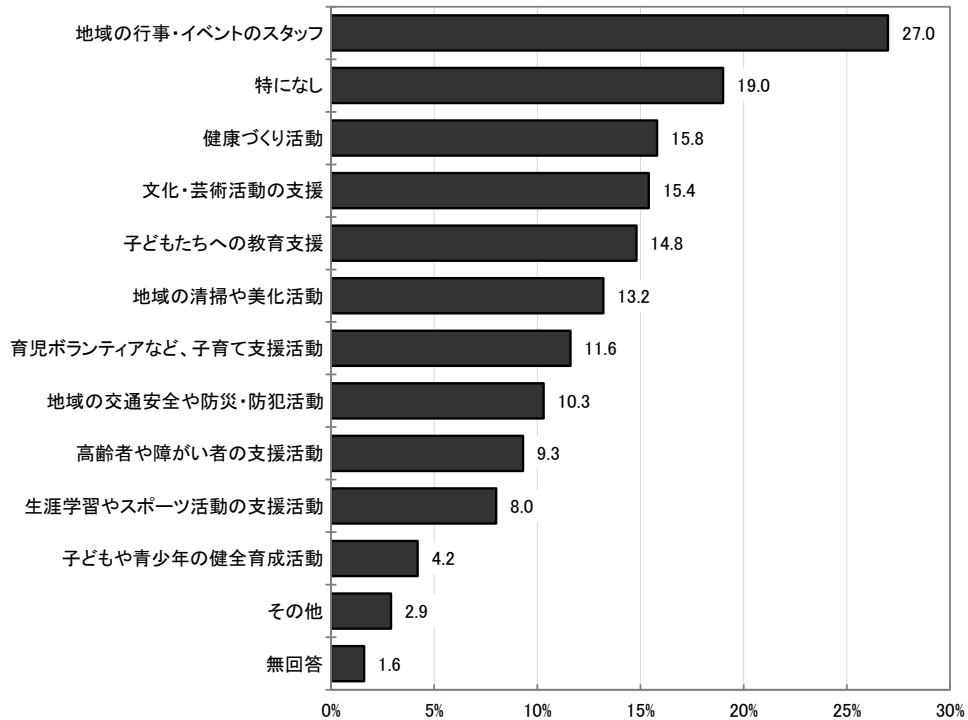
高校生

(MA) N=201



大学生

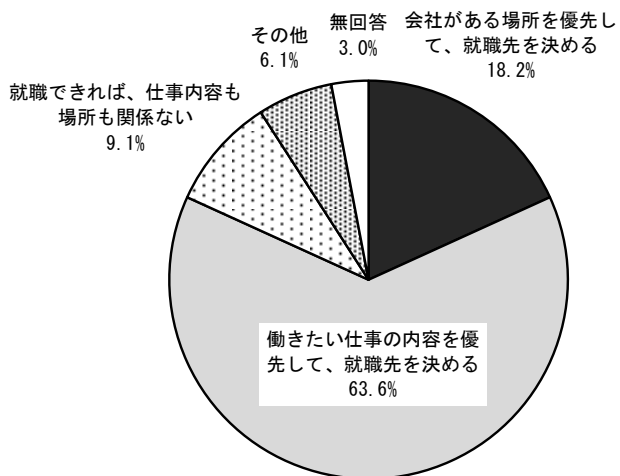
(MA) N=311



問5 就職先を選ぶ際の優先度についてお答えください。(SA)

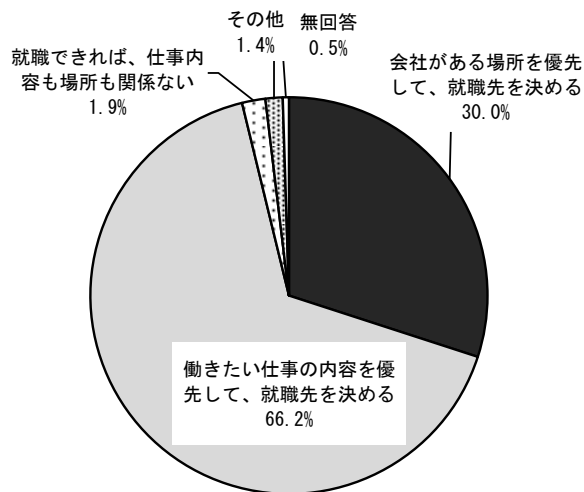
高校生

(SA) N=33

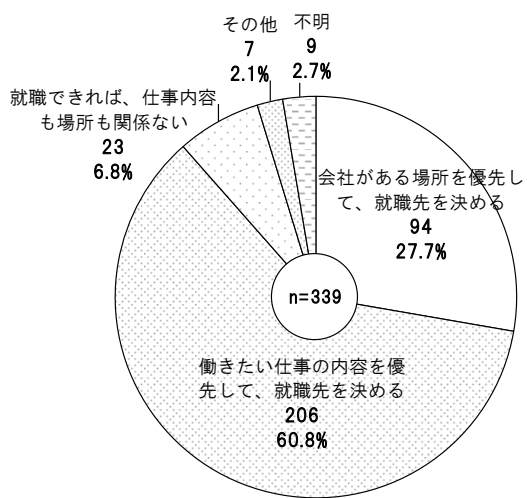


大学生

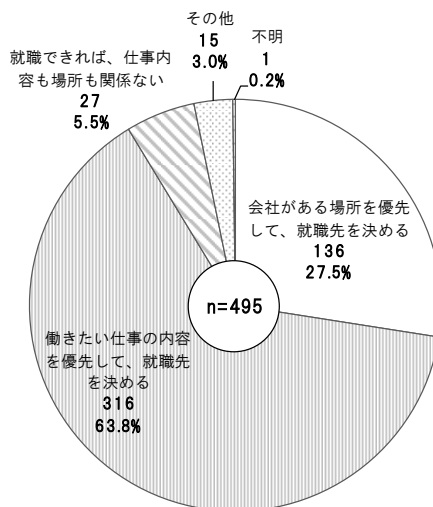
(SA) N=213



【参考】平成27年調査 (高校生)

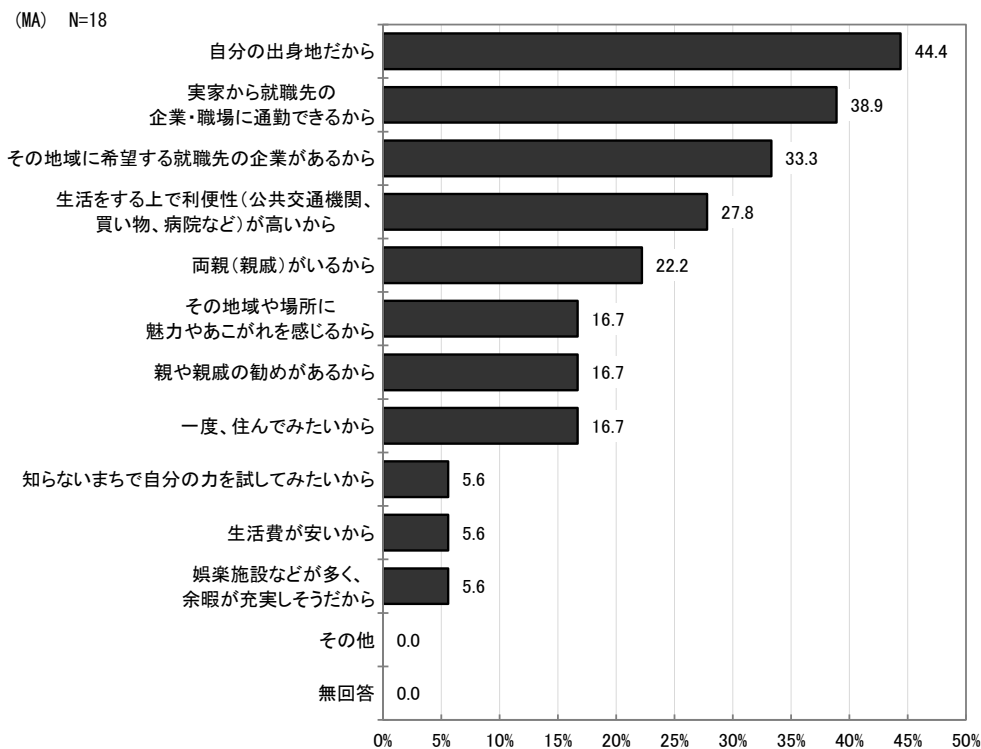


【参考】平成27年調査 (大学生)

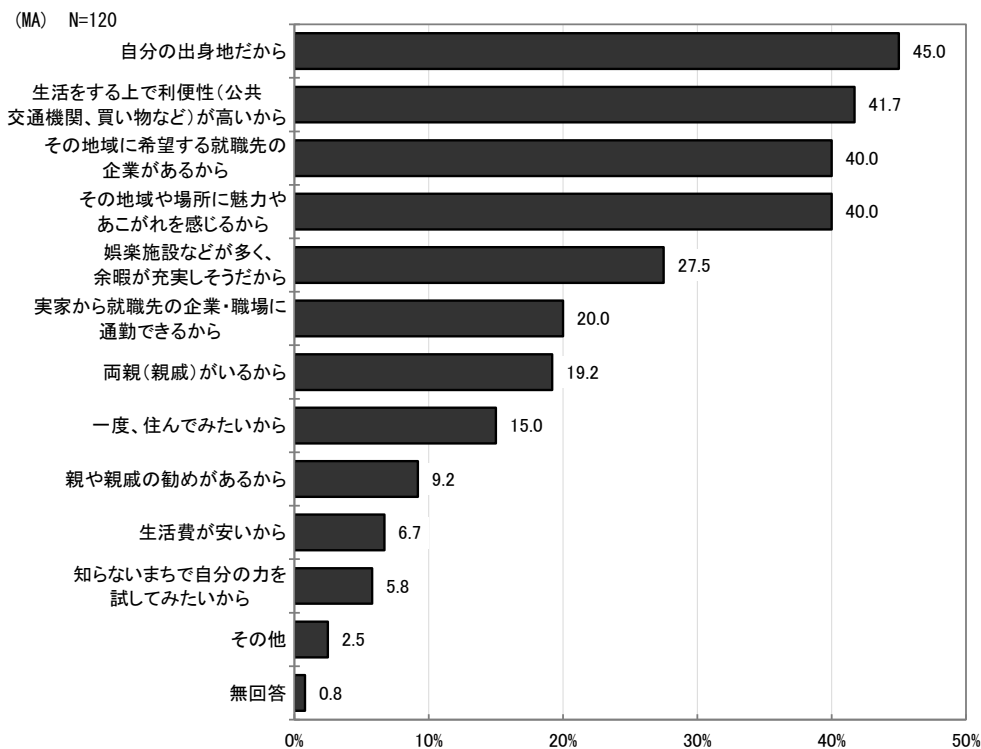


問6 就職の際の居住地を決めるポイントは何ですか。(MA)

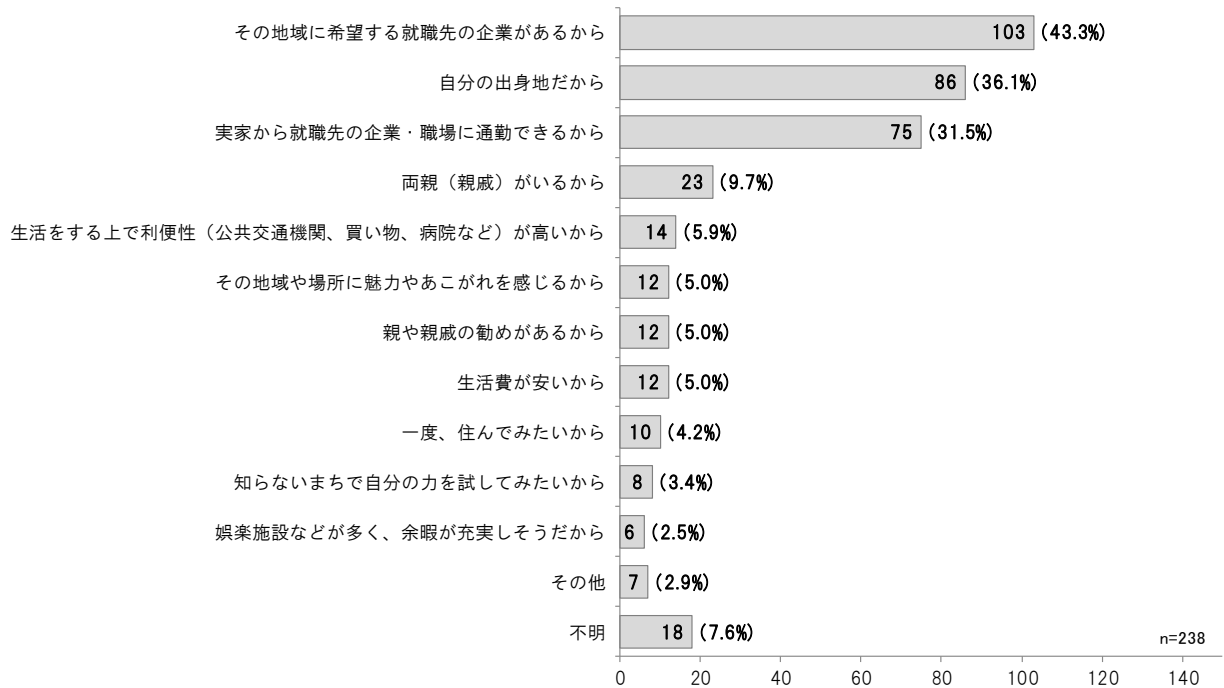
高校生



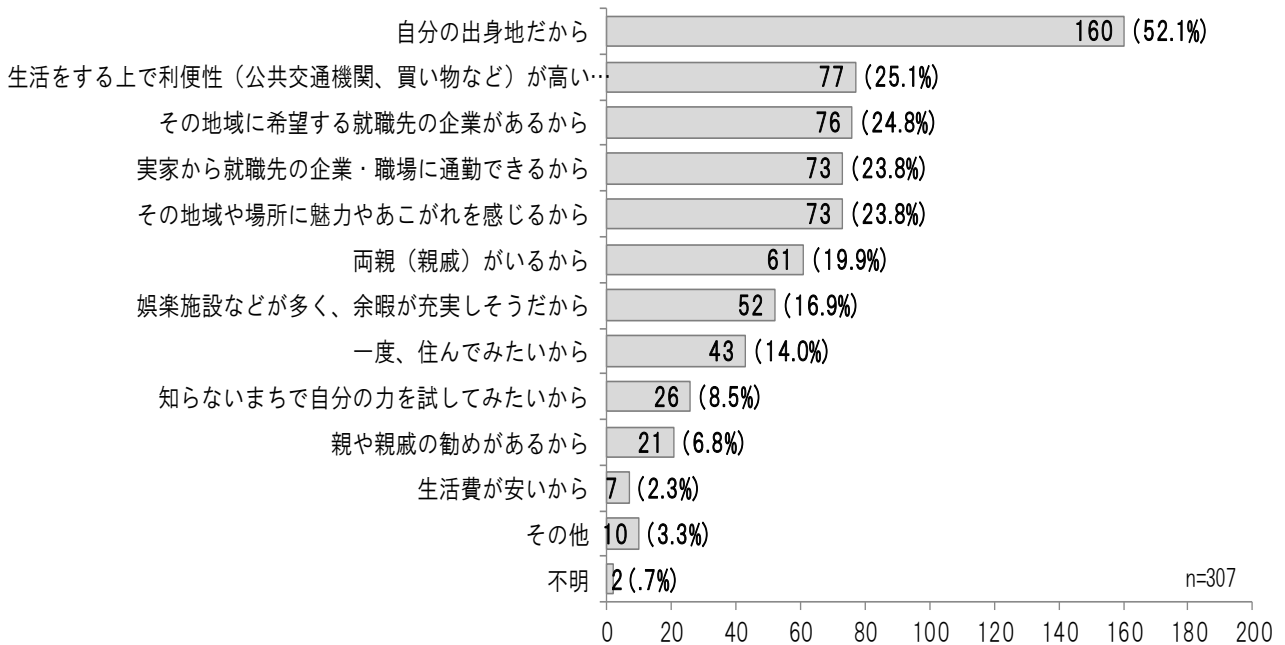
大学生



【参考】平成 27 年調査（高校生）

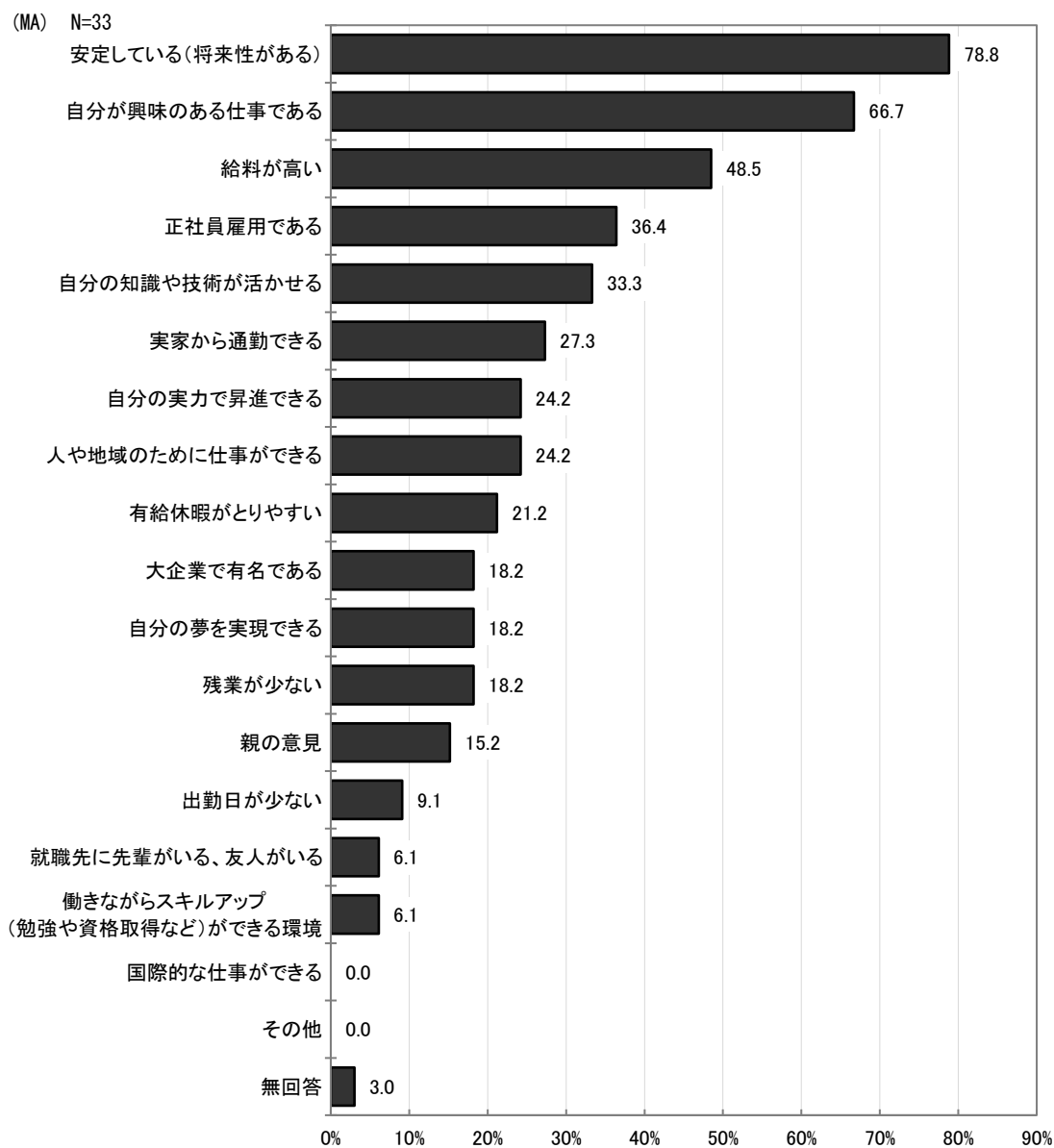


【参考】平成 27 年調査（大学生）

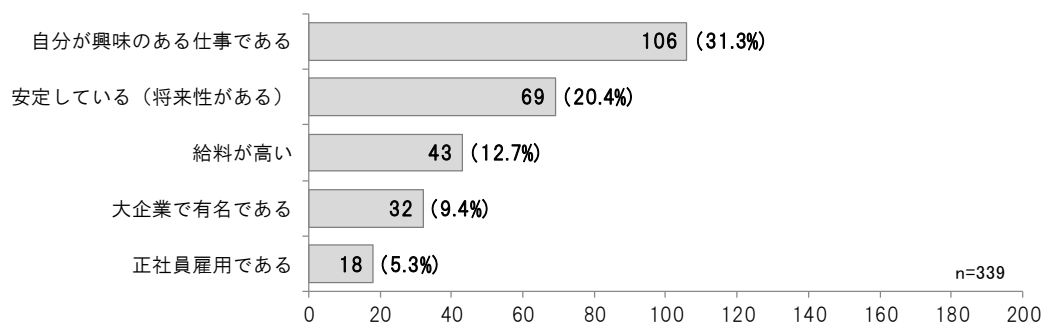


問7 就職先を決める際に、重要だと思うことをお答えください。(MA)

高校生

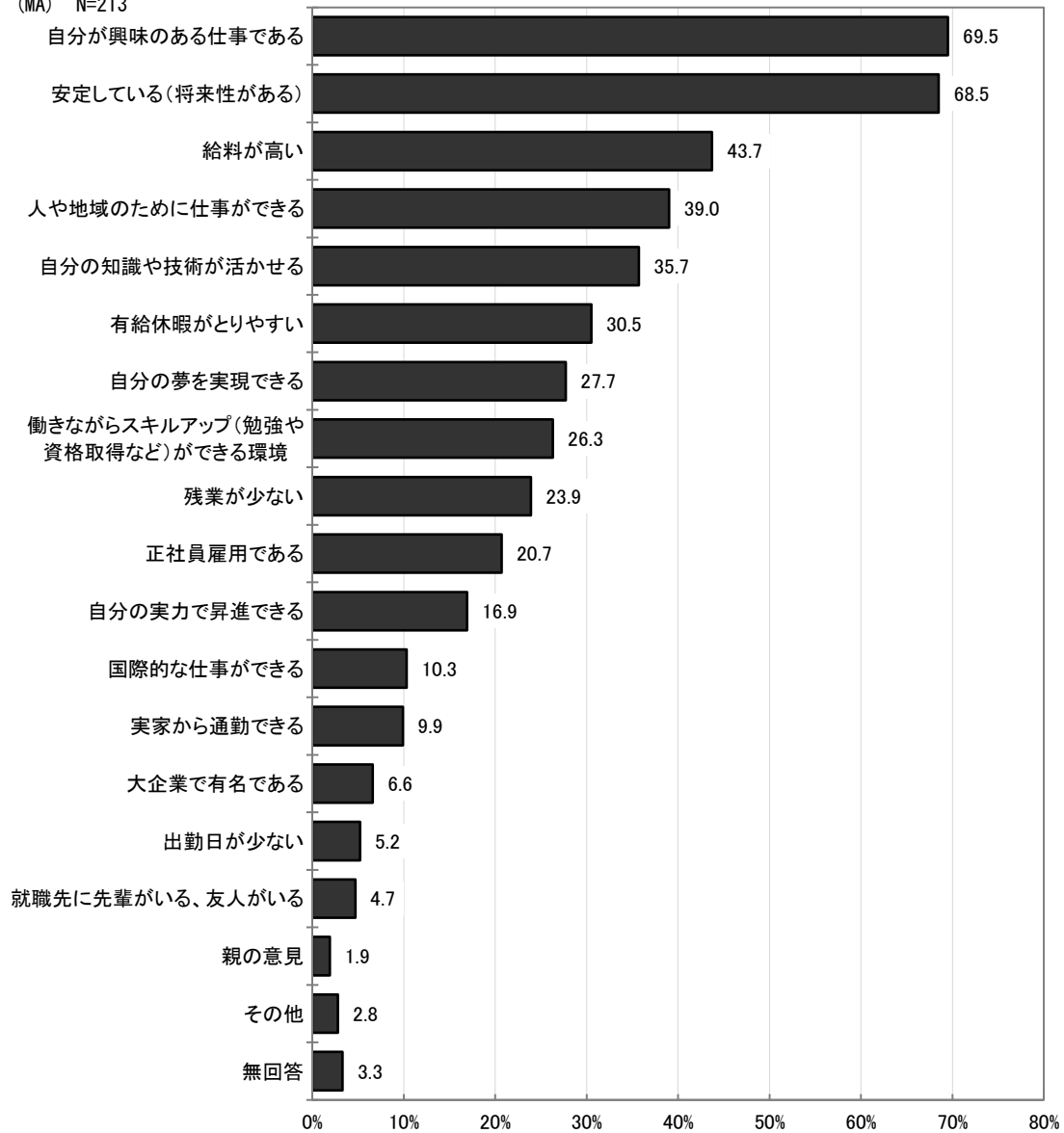


【参考】平成27年調査(高校生)

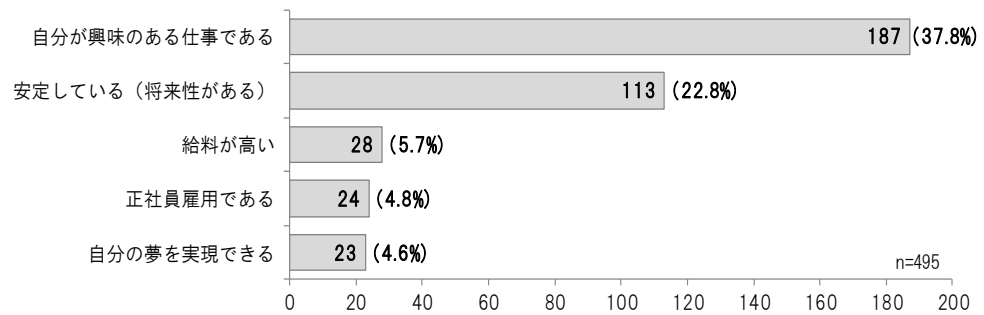


大学生

(MA) N=213



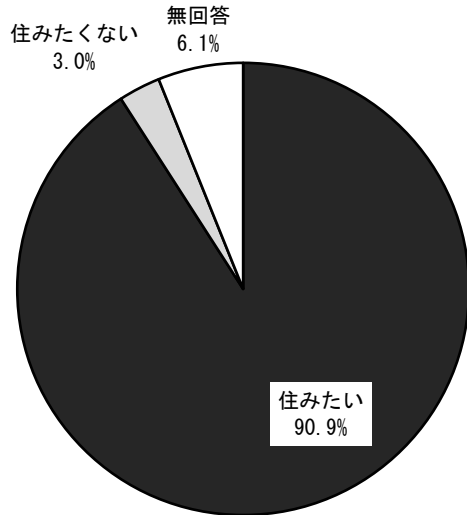
【参考】平成 27 年調査 (大学生)



問 8 宇部市内であなたが希望している仕事ができるとなった場合、宇部市に住みたいと思いますか。(SA)

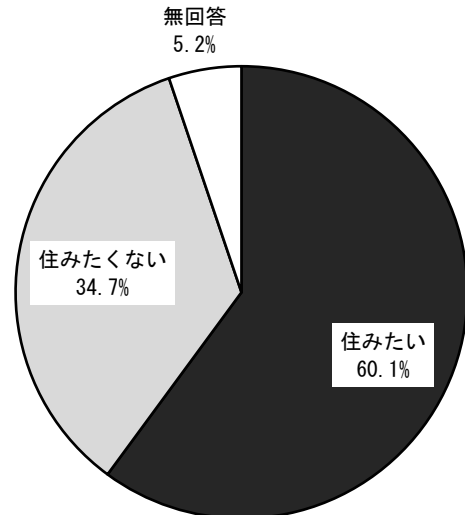
高校生

(SA) N=33

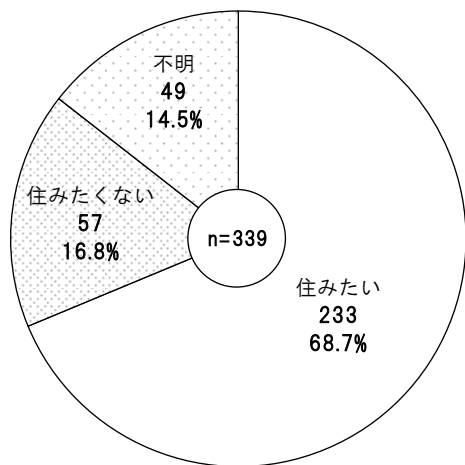


大学生

(SA) N=213



【参考】平成 27 年調査 (高校生)



【参考】平成 27 年調査 (大学生)

